

令和8年度 水道局 運営方針



福岡市水道局
Fukuoka City Waterworks Bureau

令和8年度の 取組み

施策目標1 水の安定供給と節水型都市づくりの推進

地震に強い水道管を使用した配水管の更新、浄水場の再編、漏水の調査などに取り組みます！

施策目標2 安全で良質な水道水の供給

ダム周辺の森林整備、徹底した水質管理、蛇口における水質の保持などに取り組みます！

施策目標3 危機管理対策の推進

公民館への給水ルートの耐震化、浄水場の災害対策などに取り組みます！

施策目標4 安定経営の持続

水道に関する積極的な情報提供、水道DXの推進、人材の育成などに取り組みます！



施策目標 1 水の安定供給と節水型都市づくりの推進



(1) 配水管の整備

(予算：124億3,500万円)

約4,100kmに及ぶ配水管について、計画的に更新工事を推進します。

🔧 配水管の整備 45km

POINT

- ・令和8年度末には実耐用年数を超過した管を解消
- ・配水管の整備の際には、全て地震に強い耐震管を使用

配水管の布設工事



(2) 水源・浄水場の整備

(予算：44億1,376万円)

水源・浄水場設備等の更新を計画的に実施します。

🔧 夫婦石浄水場設備の更新
取組み新 ダム総合点検の実施、長寿命化計画の策定に着手 等



(3) 浄水場の再編

(予算：24億5,258万円)

高宮浄水場の浄水機能を乙金浄水場に統合します。

🔧 乙金浄水場の増強
 🔧 高宮系送水管の整備

POINT

- ・乙金浄水場整備工事、高宮系送水管布設工事は、令和8年度完了

浄水場再編事業の概要



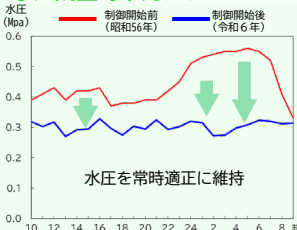
(4) 配水調整システムの整備

(予算：3億3,441万円)

各浄水場間の流量調整（相互融通）機能、水圧調整による漏水量の抑制効果、配水管異常時の早期発見と配水ルートの変更機能を持つ配水調整システムを適正に維持します。

🔧 遠方監視制御装置、電動弁の更新 等

水圧調整時系列グラフ



水需要が少ない深夜帯は特に水圧が高く、適正水圧を維持することで、漏水量が大きく抑制されます。

(5) 漏水防止調査

(予算：3億436万円)

配水管と給水管の漏水を早期に発見・修理するため、効果的・効率的な漏水調査を計画的に実施します。

🔧 漏水調査の実施（調査延長：2,880km 等）

施策目標 2 安全で良質な水道水の供給



(1) 水源かん養林の整備

(予算：8,298万円)

水源かん養林の機能向上を図るため、人工林を主伐し、広葉樹の苗木を植樹するなど、計画的な整備を行います。また、市民や企業のみなさまに水を育む森の大切さを伝えます。

🔧 スギ・ヒノキの主伐、広葉樹苗木の植樹 5ha
 🔧 水源かん養林の伐竹や下草刈り等 28ha
 🔧 市外関連ダム周辺の水源かん養林の整備支援
 🔧 福岡市水源の森づくり共働事業



(2) 水質管理の充実

(予算： 4,550万円)

精度の高い水質検査の実施、検査体制の充実を図ります。

- 国の水質基準等よりも厳しい独自の水質目標による水質管理
- 水質検査計画の策定

POINT ・PFOS及びPFOAの水質基準の改正に対応

徹底した水質検査

200項目以上の水質検査

国の「水質基準」についての検査
かび臭、細菌、トリハロメタンなど
52項目

福岡市独自の検査
農業類など
150項目以上

(3) 給水栓における水質保持

(予算： 219万円)

小規模貯水槽の適正管理に向けた啓発や直結式給水の普及を促進します。

- 小規模貯水槽の設置者への啓発資料の送付
- 直結式給水に関するアドバイスや現地調査 等



直結式給水の普及

新築された共同住宅の
約99%
(令和6年度実績)
が直結式給水を選択
されています。

施策目標3 危機管理対策の推進



(1) 第2次耐震ネットワーク工事の推進

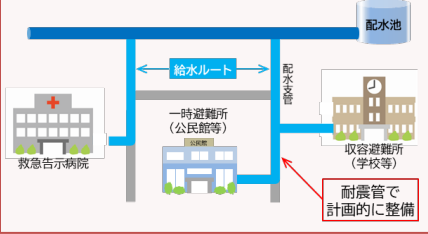
(予算： 5億5,077万円)

一時避難所を対象施設とし、給水ルートの耐震化を計画的に実施します。

- 一時避難所等の対象施設への管路を耐震化 16施設

POINT ・一時避難所である公民館等を対象施設に加えて、対象90施設の給水ルートの耐震化を実施

耐震ネットワーク工事の概要



(2) 重要施設の耐水化

(予算： 2億1,340万円)

浄水場等の重要な施設について、浸水時等の影響を最小限にとどめることができるよう、耐水化を図ります。

- 水道局本庁舎の電源喪失対策
- 夫婦石浄水場の土石流対策

POINT ・近年の気候変動を踏まえ、令和10年度末までに、重要施設5施設の耐水化完了を目指す

水道局本庁舎の電源喪失対策



(3) 様々な自然災害への備え

(予算： 1億9,296万円)

様々な自然災害発生時に給水への影響を最小限にとどめることができるよう、浄水場や配水管のバックアップ機能の充実を図ります。

- 夫婦石浄水場等の非常用発電装置の増強

POINT ・令和10年度末までに、重要施設10施設の非常用発電装置増強完了を目指す (貯蔵燃料を1日分程度から3日分に強化)

(4) 水道施設のセキュリティの確保

(予算： 9,587万円)

浄水場などの監視や水道原水の水質監視を継続します。

- 浄水場等の機械警備

取組み新 浄水処理後における魚類監視装置の導入に係る実施設計 等

施策目標4 安定経営の持続



(1) 積極的な情報提供

(予算: 2,584万円)

水道事業に関する情報を積極的に提供するとともに、対象に合わせた広報媒体を選択するなど、戦略的な広報に取り組みます。

- イラスト等を用いた分かりやすい広報紙の発行
- Instagram等のデジタル媒体による情報発信
- こども水道教室や職業体験の実施 等

POINT

- 過去2度の大渇水を経験を踏まえ、水は限りある資源であることや筑後川など水源地域・流域への感謝を積極的に発信



こども職業体験



広報紙「みずだより」

(2) 水道DXの推進

(予算: 6,472万円)

業務の効率性・生産性の向上や、迅速で利便性の高いサービスの実現を目指し、「水道DX」の取組みを進めます。

- 取組み 拡充** I o Tセンサを活用したポンプ設備の点検
- I o Tセンサや人工衛星画像を活用した水道管漏水調査
- 取組み 新** 給水装置工事完了検査のオンライン化 (令和8年度実装) 等

I o Tセンサを活用したポンプ設備の点検



給水装置工事完了検査のオンライン化



(3) 技術の継承等による人材育成

(予算: 3,602万円)

技術力の向上やDX人材の育成に取り組みます。

- 取組み 新** 水道技術研修所における実技研修
- 生成AIを活用した知識共有や技術継承 等

生成AI活用の仕組み



(4) 国際貢献活動

(予算: 1,703万円)

節水型都市づくりを通して培ってきた水道技術を活かして、国際貢献活動を推進します。

- JICA等と連携した開発途上国への技術協力

水道局の国際貢献活動



海外への職員派遣



水道技術研修所での受入研修

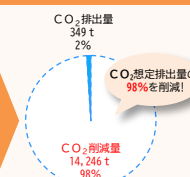
(5) 環境に配慮した事業運営

(予算: 1億4,952万円)

脱炭素社会の実現に寄与するため、再生可能エネルギー由来電力を調達します。

- 再生可能エネルギー由来電力の調達 等

再エネ由来電力未調達時のCO₂想定排出量



令和6年度のCO₂排出量